

# 診断書（視覚障害）

この診断書は、修学上・生活上の合理的配慮を考えるための資料です。

氏名		生年月日 西暦 (S・H) 年 月 日
住所	〒	
診断名	英語表記も記載してください。	
障害の状態	身体障害者手帳	無 有 ( 級、取得：西暦 (S・H・R) 年 月 日)
	区分 日本学生支援機構による	<input type="checkbox"/> 盲（視覚から情報を全く、もしくはほとんど得ることができない） <input type="checkbox"/> 弱視（視覚情報の取得は可能であるが見えにくい）
	視力	右眼= ( ) 左眼= ( ) 両眼= ( )
	障害の状態について、参考となる経過・現症・処方薬・補装具・運動制限等を具体的に記入してください。 合理的配慮に関する困難と必要な配慮について、別紙に記載してください。	
検査結果等	検査名称 検査結果を添付してください（実施日は、原則として申請時の3年以内）。 ・ (実施日：西暦 (R) 年 月 日) ・ (実施日：西暦 (R) 年 月 日) ・ (実施日：西暦 (R) 年 月 日)	
診断者	上記の通り診断する。 西暦 (R) 年 月 日 医師名 (印) (診療科名) 医療機関名・所在地・電話番号	

別紙 修学上・生活上の困難とそれに対する配慮

学生の状況を踏まえ、修学上・生活上の困難とそれに対して必要な配慮項目に○(特に必要な配慮項目は◎)を付けてください。

【記入例】

修学上・生活上の困難(症状を含む)	
○	視覚的な情報取得が困難である
	視野が狭い・欠けている
	暗い場所で見づらい

場面		必要な配慮
修学	◎	授業資料の提供：事前/事後・データ/紙媒体
修学	○	色の識別に関する配慮：色以外の情報の提示
修学		配布資料の拡大

修学上・生活上の困難(症状を含む)	
	視覚的な情報取得が困難である
	視野が狭い・欠けている
	暗い場所で見づらい
	まぶしくて見えない
	まぶしさを感じやすい
	眼が疲れやすい
	色の識別が困難である
	頭痛が生じる
	通院により遅刻・欠席する

場面		必要な配慮
修学		座席の確保：前方・窓際・まぶしさに配慮した座席等
修学		教科書・配布資料のテキストデータ配布
修学		授業資料の提供：事前/事後・データ/紙媒体
修学		墨字の点訳
修学		教科書・テキストに関する早期の情報提供
修学		色の識別に関する配慮：色以外の情報の提示
修学		配布資料の拡大
修学		情報の読み上げ
修学		注意事項の口頭説明
修学		説明箇所の明示や具体的説明
修学		問題用紙・解答用紙の拡大
修学		支援機器(視覚補助具)の使用・設置許可： 単眼鏡・個別照明・点字タイプライター・拡大読書器・ 遮光レンズ等
修学		事前打合せ・オリエンテーション：実験室や執務室等の案内
修学		TA等支援者の配置
修学		板書の写真撮影の許可
修学		授業の録音・録画の許可
修学		遅刻・欠席回の授業内容の提供：授業資料・重要情報の送付等
修学		遅刻・欠席回の学修のレポート課題等での代替
修学		課題提出期限の延長
修学		試験時間の延長
修学		問題内容の代読
修学		遅刻・欠席回の発表・試験の別日程による実施やレポート課題 等での代替
修学		解答方法の変更：点字・記述・チェック・PC入力・口頭・代筆等
生活		ロッカー・部屋等の準備：点字プリンタ・拡大読書器等の保管
生活		移動・情報に関する配慮：盲導犬・同行援護・誘導用ブロック の整備
生活		学内施設の点字表記
生活		色の識別に関する配慮：色以外の情報の提示
生活		文字・サインの拡大
生活		学生生活における重要情報の口頭伝達
生活		掲示物等情報提供に関するアナウンス
生活		オリエンテーション：教室等の場所案内等
生活		災害時個別対応書の作成：避難計画等

上記以外に困難や必要な配慮があれば、具体的に記載してください。

修学上・生活上の困難(症状を含む)	必要な配慮